

社会と未来につながる貢献の輪を広げます

ありたい
姿

地域社会・日本社会 地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します
国際社会 世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します

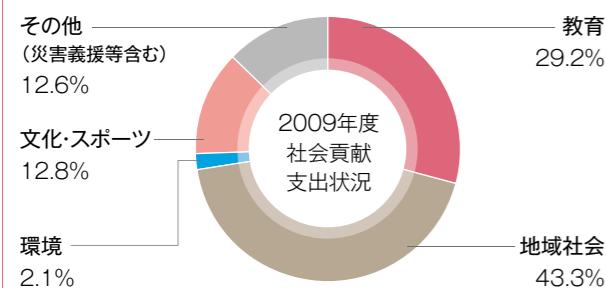
社会貢献支出について

2009年度社会貢献支出状況

川崎重工グループは、日本経済団体連合会の1%（ワンパーセント）クラブに設立当初の1990年から加入しています。

同クラブの趣旨は、経常利益の1%相当額以上を自主的に社会貢献に支出することに努めるというものです。当社の実績は、例年この目標を上回っています。

各種寄付金のほか、自主プログラムとして、企業ミュージアム「カワサキワールド」の運営と主に子供を対象とした各種のイベント開催、地域社会の振興への協力、企業の森づくり活動などを行っています。



J1サッカークラブ「ヴィッセル神戸」ソーシャルシート

スポーツを通じて青少年の健全な育成と地域の発展に貢献したいとの思いから、J1サッカークラブ「ヴィッセル神戸」を、1995年発足時より公式スポンサーとして応援しています。

さらに、震災孤児や各施設の子供たちをヴィッセル神戸のホームゲームに招待するソーシャルシートを提供し、社会福祉貢献やスポーツ振興にも寄与しています。



©ヴィッセル神戸

カワサキワールドによる次世代育成について

川崎重工グループは次世代育成にも貢献しています

当社は、2006年5月に企業ミュージアム「カワサキワールド」をオープンしました。「技術の素晴らしさ」「ものづくりの大切さ」を一人でも多くの方に体感していただくため、そして地域の皆様とのコミュニケーションを深めるために設立した施設です。当社が歩んできた110年以上の歴史や、時代の変化を的確に捉え、最先端の技術で社会の発展に貢献してきた陸・海・空にわたる代表的な製品を紹介しています。

この「カワサキワールド」では、地域社会とのコミュニケーション活動の一環として、また「次世代育成」の一環としてもさまざまなイベントも開催しています。



『サイエンスフェア in 兵庫』出展

「広げよう、交流の輪。見つけよう、将来の自分」

兵庫県のスーパー・サイエンス・ハイスクール6校の主催により、「第2回サイエンスフェアin兵庫」が行われました。高校生たちが理科分野の研究発表をする場に、当社も協力出展して製品や技術の紹介を行いました。「理科の宝箱」のような資源を活かして、このような場でも次世代の育成に貢献していくます。



親子で作ろう! 夏休み工作教室
2009年8月に開催しました。カワサキワールドのホームページから応募いただいた親子30組が参加し、プロペラ飛行機の組み立てに挑戦しました。



カワサキBK117ヘリコプタ体験飛行
2010年7月に開催。カワサキワールドにご入場いただいた方を対象に抽選で2日間合計約650名様に神戸上空5分間の旅を楽しんでいただきました。合わせて、紙トンボの工作教室も開催しました。

第7回鉄道模型走行会

恒例の鉄道模型走行会を2010年3月に開催しました。2日間で3,800名以上のお客様にご来場いただきました。会場では親子でペーパークラフト工作も実施されました。



神戸市立小学校校外学習の場として提供

校外学習の場として数多くの小学生がカワサキワールドを訪れて、当社の製品技術やものづくりに対する興味を持っていました。



中国での人財育成奨学

プラント・環境カンパニーは、中国安徽省蕪湖市において、安徽海螺川崎工程有限公司(ACK)と安徽海螺川崎節能設備製造有限公司(CKM)の両弁事業の運営を行っております。合弁のパートナーである「中国安徽海螺創業投資有限公司」との合意により、2008年度以降、合弁企業を通じ毎年100万人民元を奨学金として蕪湖市に寄付しています。蕪湖市では、優秀な学生の奨学のためにこれを用い、同市の一層の人財育成の促進を図っています。

Column

AEDによる人命救助

カワサキプレシジョンマシナリ(現:精密機械カンパニー)の3名が人命救助の功績により2010年7月に神戸市「花時計賞**」を受賞しました。

同年4月に神戸市西区の工場敷地内にて取引先会社の男性が突然倒れ、心肺停止状態になったところを社員が発見しました。直ちに119番通報するとともに、連携して的確かつ有効な心肺蘇生法と備え付けのAEDによる除細動を実施したことにより一命を取り留めることができました。



※花時計賞…神戸市長が市民の行った日常生活における善行その他の表彰に値する行為を表彰し、善意を社会に広め、もって、しあわせなくらしをつくる一助とすることを目的とする市民表彰。

左から安達晴夫、迫久美子、角田芳浩

自社資源による災害等支援

阪神・淡路大震災から15年。国内外で、自然災害の被害は後を絶ちません。義援金による経済的支援はもちろん、緊急時に自社製品や資源が役に立つ場合は、

それらを臨機応変に供出するのも企業の社会的責任であると考えています。これまでさまざまな形で提供した自社製品や施設の事例の一部をご紹介します。

阪神・淡路大震災で

自社製品による貢献

航空宇宙

自社製の社有ヘリコプタ2機を兵庫県と神戸市に無償で派遣し、物資輸送等に貢献しました。また自治体の消防・防災ヘリコプタなど、震災対応のために運航される当社製ヘリコプタにも、整備や点検サービスを行いました。



プラント・環境

木材がれきの処理要請にいち早く応えるため、簡易炉2基およびキルン式ごみ焼却設備4基を設置し、膨大な量に上る倒壊家屋などのがれき処理に貢献しました。

モーターサイクル

兵庫県にモーターサイクル10台を貸与、ライダー20名余を派遣して、連絡や物資配給の支援を行いました。また、兵庫県警にもモーターサイクル35台を貸与しました。



建設機械

神戸市に建設機械(ホイールローダ)3台を提供し、操作員を派遣しました。

破碎機

神戸市にコンクリートガラ破碎機(ジョークラッシャー)と粗大廃棄物破碎機(ガリバー)を提供し、操作員を派遣しました。



その他の災害で

モーターサイクルなど

アメリカのハリケーン「カトリーナ」(2005年8月)では物資などの運搬用に多用途四輪車“MULE”12台を、インドネシアのジャワ島中部地震(2006年5月)ではモーターサイクル20台を寄贈しました。ほかに、イラン南東部地震(2003年12

月)ではポータブル発電機80台を寄贈しました。

建設機械

新潟県中越地震、スマトラ沖地震およびインド洋津波被害ではそれぞれ建設機械(ホイールローダ)1台を寄贈し、がれきの撤去などに役立てていただきました。

施設の利用

・神戸本社および兵庫県内各工場

各事業所が管轄する寮や保養所の浴場を開放し、地域の方々(約三ヶ月で約2万2,000名)にもご利用いただきました。また一部の工場で、非常用発電設備により電力を供給し、地下水の配給も行いました。

その他

・工場で備蓄している寝具や暖房器具、他社からご提供いただいた飲料水、非常食などの救援物資を地域の災害対策本部や避難所に分配しました。
・坂出工場(香川県)は、震災の翌日から神戸工場に水や食料などの救援物資を、また支援要員も派遣し、周辺地域の救援に役立てていただきました。



兵庫県多可町「川崎重工 西谷なごみの森」での “森づくり活動”^{さい だに}

「企業の森づくり」

当社は、地球環境への貢献をグループミッションに掲げる企業として、地域社会との共生や生物多様性保全への寄与を目的として2008年12月から兵庫県が推進する「企業の森づくり」事業に参加しています。兵庫県多可町の「川崎重工 西谷なごみの森」と名付けた約14haの森林で植林、下草刈り、間伐など、里山林の植生を再生して生態系の保護を進める活動を行っています。

CO₂吸収量認証書の授与

2009年度に行った森林の間伐、除伐などの整備活動により、15.61トン／年の二酸化炭素(CO₂)を吸収したことを認証するCO₂吸収量認証書が多可町から授与されました。



CO₂吸収量認証書授与式



第3回森づくり活動

従業員と家族での森づくり活動

2010年4月の第3回の森づくり活動は、従業員と家族が参加して植樹、間伐、枝打ち作業に汗を流しました。間伐や枝打ちでは、日が差し込まず昼間でも薄暗かったスギ林が作業を進める見違えるように明るい森になり、森林の保全・再生に貢献したことが体感できる活動になりました。

活動終了後は、参加者が地元自治会や森林組合の方と一緒に歓談の場を持ち、なごみの森を後にしました。従業員による森づくり活動は、今後も継続して実施していきます。

新入社員の「森づくり活動研修」も実施

明石工場の新入社員研修では、植樹と枝打ち作業を体験して環境保全への意識を高める活動を行いました。

Column



MINEBULL

対人地雷除去車の活躍

川崎重工は、外務省の草の根無償事業として、対人地雷除去車「MINEBULL」を、アフガニスタンNGOのMCPA(Mine Clearance Planning Agency)に販売しました。

「MINEBULL」は2007年8月からオペレーションを開始しましたが、その後2009年

12月には国連機関MACCA(Mine Action Coordination Centre of Afghanistan)の認証を取得し、2010年6月までに、計53万m²を超える地雷原を無害化処理しました。

これからも人道的地雷除去活動をサポートし、国際貢献に尽力していきます。